

湊川短期大学・三田松聖高等学校 兵庫陶芸美術館の茶室「玄庵」でお茶会開催

風薫る晴天の5月5日、丹波篠山市今田町にある兵庫陶芸美術館の「春ものがたり」の中で茶室「玄庵」にて、湊川短期大学・三田松聖高等学校両校の茶道部がお茶席を担当しました。浅井学園長・理事長はじめ、先生、学生、生徒たちが、お客様に一生懸命一服のお茶を差し上げました。



毎年開催されているこの茶会は、馴染みのお客様も多くいらっしゃいます。今回は、「こどもの日」にちなんで水指に、昔鯉を運んできた「鯉桶」(こいおけ)の形をしたものなどを使用し、季節感をお楽しみいただきました。

茶道はおもてなしの心を育み、その所作は日本文化のきめ細やかな人への思いやりがこめられています。

当日一般の方に加え、学園の関係者も年代・住居地を問わず訪れてくれました。いつまでもこのような関係が続くことを願いながら、茶会を通じて穏やかな時の流れを参加者全員が共有できたひとときでした。

湊川短期大学「新入生歓迎プチ運動会開催」

5月11日(土)に、短期大学学友会の主催で「新入生歓迎会 プチ運動会」が行われました。

「プチ運動会」は学生が主体となって、4月に入学した新入生と2年生の交流を目的に行われる学友会恒例のイベントです。

今年は第一体育館に約160名の学生が参加し、さらに数名の卒業生も加わり、とてにぎやかなイベントとなりました。開会式では、まだ短大生活に慣れていない新入生



たちは、ぎこちない笑顔でしたが、玉入れ、バラエティリレー、ドッジボールと学友会の準備した競技を進める中でチームワークが生まれ、閉会式の後にはお互いに写真を撮りあったり、アドレスの交換をしたりと、あちらこちらに笑顔の花を咲かせていました。

和やかな雰囲気の中、学生同士の交流を深めることができた楽しい一日となりました。



みなとがわ新人紹介



附属西舞子幼稚園
澤江 成樹先生

「湊川短大幼児教育保育学科を卒業し、今年度4月より西舞子幼稚園に勤務しています。平成5年生まれの25歳。短大卒で就職なら20~21歳なのですが、4年生大学を卒業し、半年間曹洞宗の永平寺で修行。その後湊川短期大学で幼児教育を学びました。京都の実家が永年保育園をしている関係で、幼い頃より幼児教育を目の当たりにして育ったせいでしょうか、自分は幼児教育者になることを目標にしてきたのです。湊川短期大学は先生・学生の枠を超えた親身な指導で、気軽になんでも相談できる環境でした。一日も早く先輩の先生方のように子どもたちに信頼してもらえる存在になるよう努力しています。」・・・と語ってくれた澤江先生は、高校時代に所属していた野球部で培った長幼の序や永平寺での厳しい修行が、周りに対する優しさと豪胆な気合の持ち主してくれたようです。いつまでも爽やかな笑顔を大切にしてほしいですね。